

市民会館跡地エリア新施設・広場活用ワークショップ

# ミルミル フムフム ツクール

主催 茨木市 運営 studio-L

WORK  
SHOP  
28/28(土)  
デザインを知る

program

- 1 グループ分け
- 2 ワーク1：新施設を知ろう！
- 3 ワーク2：なりきり撮影会
- 4 ワーク3：新施設でやってみたい活動を考えよう！
- 5 ワーク4：ビジョンシートをブラッシュアップ！

WORK  
SHOP  
17/24(土)  
暮らしをみるWORK  
SHOP  
28/28(土)  
デザインを知るWORK  
SHOP  
39/25(土)  
アイデアを発想する

個別相談会

WORK  
SHOP  
410/23(土)・24(日)  
やってみるWORK  
SHOP  
511/21(日)  
ふりかえる

PRESENTATION

2月開催予定  
発表会

## eラーニングでの学び

「ミルミルフムフムツクール」では、eラーニングサイトを活用し、レクチャーやリサーチなどを進めていきます。第1回終了後から第2回までの期間はコミュニティデザインや新施設について、さまざまなインプットを紹介しました！

### レッスン1：コミュニティデザインって何？



「コミュニティデザイン」について、studio-L代表の山崎氏の講演動画を閲覧。

### レッスン2：みんなに聞いてみよう！



デザインは共感されるモノやコトをつくりだすことが大切。共感を得るために身の回りの人2人にインタビューを実施。

### レッスン3：「公共建築はみんなの家である」展を見に行こう



新施設のイメージを膨らませるために、茨木市福祉文化会館で開催されていた「公共建築はみんなの家である」展を観覧。

### レッスン4：山崎亮×伊東豊雄 対談動画



市民が活動できるスペースが多く用意された新施設。設計者の伊東豊雄さんが新施設に込めた思いを語った動画を閲覧。

## 新施設を知ろう！

市民会館跡地エリアに建設される新施設について、予定地を眺めたり、模型やパース、イメージ動画を見て、将来この施設でどんな過ごし方をしたいか想像し、施設完成後のイメージを膨らませています。



## なりきり撮影会

新施設のイメージを膨らませたあとは、実際にどんな過ごし方をしたいのか、具体的になりきって写真を撮影。撮影した写真は模型のサイズに合わせて印刷し、自分が実際に過ごしたい場所に設置しました。デザインはイメージしてそれを実際に表現することが大切。体で表現してみることで、そしてそれを見えるカタチにすることで、デザインのプロセスを体感しました。



## 新施設でやってみたい活動を考えよう！

第1回で話し合った、参加者それぞれの興味・関心をマッピングした新施設図面を使って、新施設でやってみたい活動をイメージしていきました。去年の設計ワークショップで考えた新施設で求められる機能も合わせて確認していきました。



また、その興味・関心があることをベースに、各地で実施されている先進事例をまとめた事例カードをみていきました。気になる事例にチェックを入れながら、新施設でどんなことができるか話し合いながらアイデアを検討していきました。



## ビジョンシートをブラッシュアップ！

最後に、第2回ミルミルフムツクールで体験した結果を踏まえて、参加者それぞれのビジョンシートをブラッシュアップしていきました。茨木のまちでどんな暮らしがしたいのか、自分自身のビジョンに落とし込んで考えていきました。

